

製品名: HSP105 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12239**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 100kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | HSPH1 |
| 別名 | HSPH1; HSP105; HSP110; KIAA0201; Heat shock protein 105 kDa; Antigen NY-CO-25; Heat shock 110 kDa protein |
| 遺伝子 ID | 10808.0 |
| SwissProt ID | Q92598 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト HSP105 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 791-840 |

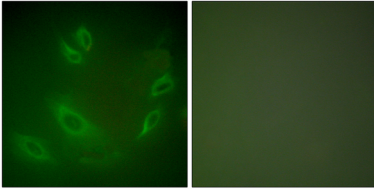
背景

機能: ATP レベルが著しく低下する重度のストレス下にある細胞において、変性タンパク質の凝集を防ぐ。HSPA8/HSC70 ATPase お

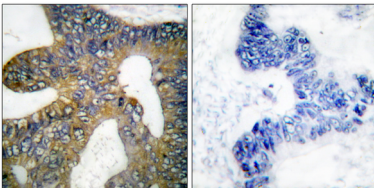
よびシャペロン活性を阻害する。、PTM: Ser-509 のリン酸化は、HSPA8/HSC70 シャペロン活性の調節に重要である可能性がある。、類似性: 熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属する。、サブユニット: HSPA8/HSC70 と相互作用する。、組織特異性: 精巣で高発現する。小脳を除くほとんどの脳領域では低レベルで存在する。がん細胞で過剰発現する。、機能: ATP レベルが著しく低下する重度のストレス下にある細胞において、変性タンパク質の凝集を防ぐ。 HSPA8/HSC70 ATPase およびシャペロン活性を阻害する。、PTM: Ser-509 のリン酸化は、HSPA8/HSC70 シャペロン活性の制御に重要である可能性がある。、類似性: 熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属する。、サブユニット: HSPA8/HSC70 と相互作用する。、組織特異性: 精巣で高発現。小脳を除くほとんどの脳領域では低レベルに存在する。癌細胞で過剰発現する。、

研究分野

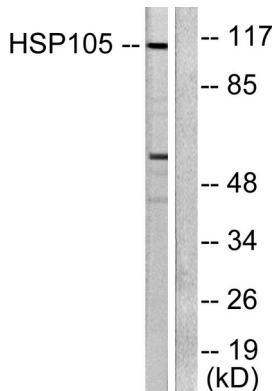
画像データ



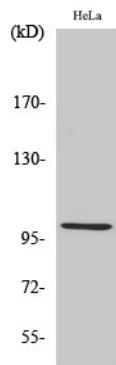
HSP105 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



HSP105 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



HSP105 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



HSP105 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析